



「ベシック、イージー、シンプル」をモットーに指導にあたるベイガ監督。クラブビジョンは「1.刈谷を中心とした三河地方のみなさんに愛されるクラブとなる」「2.自分たちの街にサッカークラブがあることの喜びと感動を提供する」「3.地域の方々が集い、交流できる場を創造する」



今年4月14日に開催されたプレシーズンマッチでは、東海学園FCと対戦。3対1で勝利を収め、チームや関係者、ファンと喜びを分かち合いました



選手同士の絆は連携プレーを生み出す、勝利への重要なキーワード

選手から直接学ぶFC刈谷サッカーアカデミー。年齢に応じた運動を取り入れながら、基本的なテクニックを習得します



information
東海社会人サッカーリーグ1部 開幕戦
FC刈谷 vs 藤枝市役所サッカー部

5/19(土) 16:00~
会場/ウェブスタジアム刈谷 観戦無料!

ボランティアスタッフ募集中
小学生以上であれば、年齢や経験は不問
問い合わせは事務局(0566-62-5160)まで

ベイガ監督は、これまで南米を中心に21のプロチームを率いたほか、ウズベキスタン代表監督も務めた人物です。前所属クラブでは、若手中心の編成でリーグ下位のチームを変革。公式戦無敗という圧倒的な強さで、ポリビア1部リーグ優勝へと導きました。

地域密着の活動理念に共感してオフアアを快諾したベイガ監督は、今年2月1日からチームに合流。「日本へ行くことは長年の夢でした。「地元のみなさんや地域の誇りを創造できるクラブへ」というビジョンと、Jリーグ昇格への意気込みに惹かれて、

選手と共に未来を見据えてプレーしたいと思いましたが」と熱く語ります。2018シーズンは、新卒の選手8人と、他クラブチームからの移籍選手10人が新加入。全選手27人のうち、半数以上の18人が新メンバーというフレッシュな顔ぶれになりました。今季のスローガンは「Victoria one for all, all for one」です。「Victoria」は、ポルトガル語で勝利の意味。「One for all, all for one」(一人は皆のため

「5年以内にJリーグ昇格を目指すため、まずは刈谷代表としてリーグ戦を勝ち進むことが目標。FC刈谷は一人ひとりの士気がとても高く、5月から始まる東海リーグ戦を前に日々進化しています」とベイガ監督。地域、スポンサー、選手、スタッフの思いを結集し、共に前進していく喜びや勝利の感動を分かち合いたいと力を込めます。



運営スタッフ高橋聡さん(左)と、広報の内藤剛志さん(右)

「一人は皆のため」(一人は皆のため)に、皆はひとつの目標のために)は、今年2月に開催した刈谷市長杯決勝の試合前、ベイガ監督が選手たちへ伝えた言葉です。

「5年以内にJリーグ昇格を目指すため、まずは刈谷代表としてリーグ戦を勝ち進むことが目標。FC刈谷は一人ひとりの士気がとても高く、5月から始まる東海リーグ戦を前に日々進化しています」とベイガ監督。地域、スポンサー、選手、スタッフの思いを結集し、共に前進していく喜びや勝利の感動を分かち合いたいと力を込めます。

「5年以内にJリーグ昇格を目指すため、まずは刈谷代表としてリーグ戦を勝ち進むことが目標。FC刈谷は一人ひとりの士気がとても高く、5月から始まる東海リーグ戦を前に日々進化しています」とベイガ監督。地域、スポンサー、選手、スタッフの思いを結集し、共に前進していく喜びや勝利の感動を分かち合いたいと力を込めます。



ビラ・ベイガ 監督
今季から監督に就任。「これまでの経験とすべての知見を刈谷の皆さんと共有し、新たな喜びや感動を分かち合えたら、どんなに素晴らしいでしょう。今からワクワクしています」と話します

地元のみなさんや地域の誇りを創造できるクラブへ



新しいユニフォームには「世界へ、そして未来へとつなぐたすきになるように」と思いが込められています



未来へ、まっすぐ。



地域の誇りとなるべく勝利をつかめ!

地元の声援を力に、Jリーグ昇格を掲げてピッチに立つ市民クラブのFC刈谷。今季からビラ・ベイガ新監督が就任し、新体制となってリーグ戦に臨みます。



「刈谷を盛り上げるために地域貢献できるサッカーを」

「2017年、JFL復帰をかけた全国地域サッカーチャンピオンズリーグに3年連続で出場するも敗退。好機を逃した悔しさを晴らすべく、若手育成に定評があるビラ・ベイガ氏を新監督としてブラジルから招致しました。

Vitória one for all, all for one



今年4月、今シーズン(new)ユニフォームを身に奮起、気持ちも新たにプレーする選手たち



JFL復帰が目標への第一歩 刈谷の社会人サッカークラブ

ウェブスタジアム刈谷をホームグラウンドに、地域に愛されるクラブを目指して活動するFC刈谷。企業クラブのデンソーサッカー部から、2006年にJFL参戦の権利を受け継ぎ、市民クラブのFC刈谷が誕生しました。